

神戸市少年団登山教室山行（12月14日）報告

1. 参加者

教室生参加者	22名
引率者	岳連理事4名 加盟団体会員1名 教員ボランティア1名 大学生ボランティア1名
協力者	環境省アクティブレンジャー 1名

2. 記録

天気 曇り時々ミズレ交じりの小雨
冬の変りやすい天気



9時 神戸登山研修所教室生 集合
9時15分 神戸登山研修所 出発
もうすぐ移転予定のハンター邸の説明をしながら傍を通る
9時30分 妙光院 馬頭観音とその裏にある楠の大木を見る
9時34分 青谷道登山口 着
青谷道を登る
青谷観光茶園の傍で神戸のお茶について説明
行者堂跡手前の禊場（大龍院岩屋滝）を見学
行者堂跡からすぐの所は濡れた岩場の登りで滑らないよう注意



その後は石の階段の登りの登山道を途中で休憩しながら登る
旧天上寺仁王門から石段を数えながら登る（354段前後の答えが返ってきた）

10時50分 摩耶史跡公園（旧天上寺跡）着
摩耶の大杉を見学
ミズレ交じりの小雨が降り出す。
旧天上寺跡（摩耶史跡公園）でアクティブレンジャーの「日本の国立公園」についての説明
奥の院跡への山道を登って摩耶山山頂を目指す。



11時37分 摩耶山山頂 着
11時45分 掬星台 着
寒く風もあるので東屋の下で昼食をとる
12時15分 掬星台 出発
天狗道を下る
教室生の一人が右足を捻挫する。捻挫は酷くなさそうなのでテーピングをし、リュックを外させて皆と一緒に行動する。
12時50分 杉の巨木（マザーツリーの1本）を見学

天狗道に戻り、学校林道を下る。枯葉は登山道にたくさん積もっていた。滑りやすいので注意して歩くように注意する。

14時00分 高射砲台跡（東山付近） 着

高射砲台跡の見学

元の登山道に戻り、落ち葉の積もる山道を滑らないよう注意する。

雷声寺への急な歩きにくい階段を下る。

雷声寺からは市街地を通過してJR新神戸駅に着く。

15時07分 新神戸駅 着

15時15分 解散



3. 活動内容と感想

寒が入り、日が照っているかと思えば雲が広がりミズレ交じりの小雨も降る不安定な天気の日だった。寒さも厳しく掬星台では手袋を外すと手がかじかんで指が動きにくいほどだった。厳しい冬の山を教室生に体験してもらったのは良かったと思う。

今回の山行では摩耶山を登りながら妙光院の馬頭観音や楠の大木、観光茶園、大龍院岩屋滝の禊場、青谷道沿いの杉などの多くの大木、旧天上寺跡でのアクティブレジャーの「国立公園のお話」、天狗道傍の杉の巨木、高射砲台跡などを見学したりお話を聞いたりした。「国立公園のお話」では摩耶山もまた瀬戸内海国立公園の一部であることを教えてもらった。旧天上寺付近に聳える杉など多くの大木を見るとそれが頷ける。ただ、寒さも厳しくミズレ交じりの小雨が降ったりする中で見学や話を聞くのには条件が良くなく少し心が残った。天狗道傍の杉の巨木は六甲山のマザーツリーの1本に数えられていて今回教室生に是非見てもらいたいと思っていた。山道を逸れて少し進んだ所にある杉の巨木は草木に囲まれて立っていて自然のままの姿だった。ただ冬空の下、寒さが厳しいのでゆっくり見ることができなかったのが残念だった。教室生も暖かい時に再度見に来てほしい。神戸の市街からすぐ近くにある摩耶山に葉の茂る杉の巨木があるのは奇跡だ。



登山道を歩いている時、落ち葉が山道に多く積もっていて見るのは綺麗だけれど滑りやすい事を教室生に注意して進んだ。特に下りは要注意だ。今回、足を捻挫した教室生がでたが、幸い酷くはなくテーピングをしてリュックを外させて空身でゆっくり引率者と一緒歩いて下りた。先頭にもゆっくり進むように伝えて新神戸駅にみんなと一緒に無事到着した。



冬の寒い中の山行では長く留まっていると身体が冷えてしまう恐れがある。今回、事前に寒波が来る事の天気予報があったので昼食を早く摂れるようにパンなど簡単な食べ物や温かい飲み物を準備するよう事前に連絡しておいた。その為もあってか早く昼食を済ませることができ活動を早く再開できたのは良かった。

今回、真冬並みの寒さの中の山行となったが、四季折々いろんな顔を持つ自然の中で厳しい一面をみることは教室生にとって貴重な体験だったと思う。

文責 大西

